

平成20年度現場見学会

高知県橋梁会理事 岡本圭吾

1. まえがき

平成20年度の現場見学会は、徳島県吉野川市鴨島町で施工中の「牛島高架橋」と日本三奇橋の1つ「祖谷のかづら橋」を視察するため、6月28日(土)の日帰りで行われた。

午前7時30分に、はりまや橋を貸し切りバスで出発し、高須、南国、経由で参加者を乗せ、南国ICから現地に向かった。参加者は、下記の16名である。

(株)愛橋	安見 和夫
(株)アンプル	西川 順二
オリエンタル白石(株)	井上 祐志
北村商事(株)	佐野 健
構営技術コンサルタント(株)	吉田 幸男 友田 一志
(株)相愛	中村 和弘
(株)第一コンサルタンツ	右城 猛 芝田 和仁 西村 紘寛
(株)鉄建ブリッジ	浜田 昭 植田 巖朗
ピーシー橋梁(株)	岡本 圭吾
三井住友建設(株)	山崎 喜一郎
(株)ロイヤルコンサルタント	筒井 秀樹
元高知県職員	野村 洋一

2. 牛島高架橋現地視察

徳島自動車道の土成ICを降り、現地の天候は曇り、見学中、雨にふられない事を祈りながら、吉野川を渡り、現地に着した。

牛島高架橋は「2径間連続スプライスPCラーメン橋」という四国で初めての構造形式であった。橋長：56.750m 支間2@27.825m 幅員：9.700mと小規模ではあるが、工場製作によるプレテン構造と場所打ち構造をPC鋼材によって一体化した橋梁であった。桁高のスレンダー化、施工の省力化による工期短縮が図られていた。

現場は、工期を1週間残し足場等の解体作業の最中でほぼ完成状態でした。

現場職員の案内で、完成に至るまでの苦労話や工夫点を聞きながら橋面から桁下まで見学。

参加者からは、「上空に架線があるが、どのようにプレテン桁を架設したのか」とか「解析温度と測定値の違いは」などと専門的な質問が多くあり、現場所長は指を指して回答する場面がよくみられた。

あっという間に予定時間をオーバーし、急ぎバスに乗込みかざら橋に向かった。



説明する現場職員



熱心に聞き入る参加者



牛島高架橋 施工状況

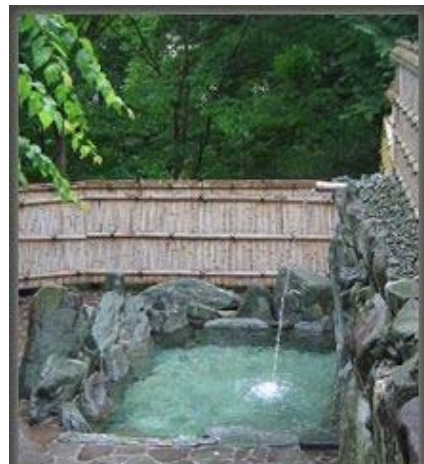


祖谷秘境の湯 昼食



プレテン桁とポステン部の接合

昼食の後は、楽しみにしていた秘境の湯に入浴した。お湯は、ぬるぬるする感じで肩こりもとれて、肌がすべすべになった。開放感ある露天風呂は、日常の疲れを癒してくれ、大自然を満喫できた。



アルカリ性単純泉

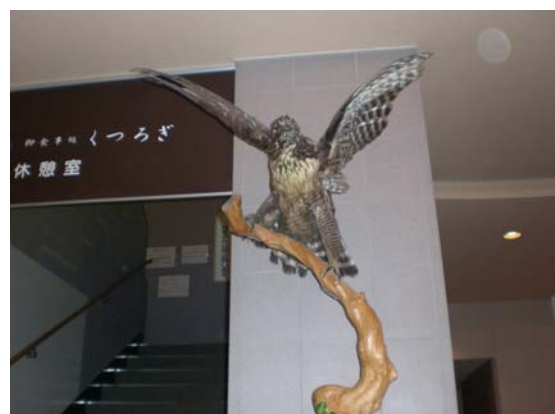


現場見学修了

3. ホテル秘境の湯 昼食・入浴

バスは、徳島自動車道の池田 I C まで西に走り、国道 32 号線を南に大歩危小歩危の溪谷を抜け、平家落人の屋敷のある山里を越え、ホテル秘境の湯に予定時間を少し遅れて到着した。

ホテル秘境の湯は、祖谷溪谷の大自然に臨む場所にあり、昼食のあめごの塩焼きや祖谷そばなどの郷土料理を更に美味しくしてくれた。



秘境の湯ロービーの鷹

4. 祖谷ロマン橋

温泉を満喫した一行は、バスに乗る途中、

ホテル下にある橋梁を発見！

スケジュール変更し、寄り道することとなった。そこはイベント広場と祖谷ふれあい公園をつなぐ橋であった。

橋梁の構造形式は、単弦アーチ橋（非合成箱桁橋）主桁の平面線形R = 50 mとアーチの美しい歩道橋であった。

曲線の吊り橋は不自然で空中を歩いている感じと風で揺れているところに驚いた。

橋梁下に見える砂防ダムの役割、川の勾配や流木について解説を受けながら橋を渡った。



祖谷ロマン橋と砂防ダム



R = 50mの急曲線



祖谷ロマン橋 概要



祖谷溪谷

5. かずら橋

やっと最終目的地かずら橋に到着。

日本三奇橋の1つで国・県指定の重要有形民俗文化財 長さ 45m幅 2mで材料はしらくちかずら、祖谷川の清流を跨ぐ、吊り橋と解説文にあった。

土曜日であったので観光客も多く、かなり揺れていた。吊り橋を渡る時の足元は、足より小さな木に、15cmくらい隙間があり、下には祖谷川が流れている。

見た目以上にスリルがあり、渡り終わるとホッとした。しばらくの間、船酔いのように体が揺れている感じがあった。



かずら橋と祖谷溪谷



かずら橋で記念撮影



かずら橋前の砂防ダム（右が本物）



足元を見ながら慎重に渡る



無人駐車場の色白美人



新しくなった かずら橋渡り口

かずら橋からの帰り道、駐車場の前に何か違和感のある岩肌が見えた。昨年完成したばかりの砂防ダムであった。

どのように細工になっているのか確認してみた。コンクリート表面に模様つけし着色したようであった。遠目では本物の岩肌に見え、うまく自然と調和できていた。観光施設の近くであるので、環境を配慮して本物の岩でダムを隠すようにしていた。

6. あとがき

日帰りでも時間の少ない行程ではあったが、充実した見学会であった。

ピースー橋梁の現場職員には、忙しい中施工説明していただき、感謝申し上げます。

予定していなかった祖谷ロマン橋の見学、砂防ダムの解説等は、大変勉強になりました。

15年ぶりのかずら橋と祖谷渓谷は、新施設が多く、ホテル秘境の湯でも駐車場がいっぱいで観光客は多いことに驚いた。今は、祖谷渓谷、四万十川などの自然美や環境のいいところに癒しを求めているのだと実感した。

お世話になりました皆様、ありがとうございました。